

奈良市教育ビジョン（中間報告）に対するパブリックコメントの結果について

奈良市教育ビジョン（中間報告）につきまして、市民の皆様からの意見を募集しましたところ、55件136項目の意見をいただきました。提出いただいた意見の概要と、それに対する奈良市教育委員会の考え方を公表いたします。

□ 意見募集期間 平成20年11月21日から平成20年12月19日まで

□ 提出方法別意見提出件数

提出方法	件数
窓口	26件
郵送	0件
ファクシミリ	25件
E-mail	4件
合計	55件

□ 意見の内訳

意見の内容	項目数
1 教育ビジョン（中間報告）の施策に関するもの	
① 豊かな心とたくましい体をはぐくむ教育の推進について	8項目
② 確かな学力をはぐくむ教育の推進について	40項目
③ 信頼される学校づくりの推進について	22項目
④ 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進について	12項目
⑤ 奈良らしい教育の推進について	23項目
2 教育ビジョン（中間報告）全体の構成に関するもの	14項目
3 その他	17項目
合計	136項目

□ 意見の概要及び教育委員会の考え方

奈良市教育ビジョン（中間報告）に対して、提出いただいた意見の多くは、施策に関して賛同するものでした。全体の構成に関して改善や修正を求めた意見が6項目ありました。この点につきまして、教育委員会の考え方について回答させていただきます。

なお、施策に関して賛同する意見及び個々の感想や思いについては、その主なものを紹介させていただきます。

意見の概要	教育委員会の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 非常にバランスのよいものを作られたという思いをもった。しかし、教育振興基本計画にあたるものとしては、学校教育の範囲しかカバーしていないように感じた。生涯学び続けていける社会の実現が言われている今日、範囲が狭いように感じた。内容がそのままならば表題を「奈良市学校教育ビジ 	<ul style="list-style-type: none"> この教育ビジョンは、主に教育委員会が所管している幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における学校教育を対象としています。このことが分かるよう表題に「奈良市教育ビジョンー確かな学力と規律あるたくましい子どもをはぐくむためにー」とサブタイトルを加えます。 また、この教育ビジョンは、奈良市版の学校教育に関する「教育振興基本計画」として、位置づけて

<p>ョン」などとする方が適当ではないか。</p>	<p>います。このことについての考え方は、「奈良市教育ビジョン策定にあたって」に記載します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 10年後の奈良市の姿を描いた教育ビジョンとは思えないぐらい無難な内容ばかりが並んでいるように思える。思いきった教育改革を推進するための指針となるものにすることが重要ではないかと考える。それぞれの項目のバランスだけでなく10年間古くさくならない教育ビジョンを望む。 	<ul style="list-style-type: none"> この教育ビジョンは、向こう10年間にめざすべき教育の姿とその前期計画となる5年間に取り組むべき施策について、現在まで進めてきた本市の教育改革を継続しながら、新たな施策を加え、全体像を明らかにしたものです。また、本市の基本方針である「奈良市第3次総合計画」との整合性も図り、検討しております。 なお、毎年、計画の実施状況の評価を行うとともに、後期計画につきましても、前期計画に基づき、新たに後期計画を策定し、時代に合った教育ビジョンとなるよう努めます。
<ul style="list-style-type: none"> 教育ビジョンの実現に向けて、10年間の段階的な到達目標など、具体的な施策とともに、施策の実施計画を示すべきであるとする。 	<ul style="list-style-type: none"> この教育ビジョンの実現に向け、5年間の前期計画について具体的な施策とともに、示せるところについては数値目標を盛り込んだ段階的な到達目標を示した「具体的な施策の年次計画」を掲載します。
<ul style="list-style-type: none"> 「奈良らしい教育の推進」をあえて位置づけなければならないのかという気もする。奈良市としては、教育ビジョン（中間報告）で示されている基本目標の1「豊かな心とたくまし体をはぐくむ教育の推進」から4「地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進」の中に、5「奈良らしい教育の推進」がすべて含まれていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界遺産に学び、ともに歩むまちーなら」をめざすべき都市の将来像としている本市では、「確かな学力と規律あるたくましい子どもを育む教育のまちづくり」を進めるにあたり、世界遺産学習や小学校ハローイングリッシュ事業、幼小連携・小中一貫教育の推進などを重要な施策として取り上げ、推進しています。 このことから、「奈良らしい教育の推進」を基本目標の一つとして掲げました。
<ul style="list-style-type: none"> 奈良の教育ビジョンというなら、最初に奈良らしい教育について書くべきではないか。 その方がアピール性があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> この教育ビジョンの基本目標の1つとして取り上げた「奈良らしい教育の推進」を、本市の特色として明示するために、全体の構成を見直し、最初に位置づけます。
<ul style="list-style-type: none"> 奈良らしい教育については4本柱のようだが、4番の「幼小連携・小中一貫教育の推進」を除いては、奈良市の事業の名前であり、汎用性のある、もっと思い切った提言があってもいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「奈良らしい教育の推進」については、めざす子ども像の実現に向け、本市で進めている特色ある取組を取り上げています。教育の内容としてはどれも汎用性のあるものです。例えば、世界遺産学習の充実については世界遺産学習を切り口に環境や国際理解、人権、平和など多様な学習への展開を図ります。 そこで、4つの領域名にサブタイトルを加え、汎用性や広がりのある表記とします。

施策に賛同する主な意見の概要及び感想や思い

1 教育ビジョン（中間報告）の施策に関するもの

① 豊かな心とたくましい体をはぐくむ教育の推進についての意見

- ・ 道徳教育の大切さをつくづく感じている。道徳の時間は必要だと思う。して良いこと悪いことの区別をきちんと幼いころから身に付けなければならないと感じている。
- ・ スクールカウンセラーの幼稚園への配置は必要であると思う。さらに、幼児のみでなく、親子を対象にすることが必要かと考える。
- ・ 校種間の連携の推進については、子どもの生活面の変化に対応するなど、今後も必要性を感じる。
- ・ 読書活動については、子どもたちの絵本の読み聞かせをする保護者や教員の研修の充実を図って欲しい。

② 確かな学力をはぐくむ教育の推進についての意見

- ・ 奈良市教育改革推進フォーラム、奈良市教職員研修講座等において、地域住民や幼小の教員が一緒に行う研修等は、互いの理解と認識が深まり、今後の充実も望まれる。
- ・ 義務教育でない幼児教育において、施設・設備や教材・教具の充実を図る施策については、計画性をもって推進して欲しい。
- ・ 保護者の要望として「3歳児保育の実施」の声が多い。園児数の減少とも関わるので、公立幼稚園での「3年保育」の実施を推進することが必要であると思う。
- ・ 幼小連携は、計画、実践、反省等を教職員一同で行うことにより、小学校との滑らかな接続、心の交流など、良い体験・成果につながる取組であると思う。
- ・ 特別支援教育支援員や特別支援加配教員の配置と時間拡大の推進が望まれる。

③ 信頼される学校づくりの推進についての意見

- ・ 学校の教育力の向上には、教員の資質や指導力の向上が必要だと思う。奈良らしい教育の推進のためには、例えば、世界遺産に関する研修の充実を図る等、具体的な研修が必要ではないか。
- ・ 幼稚園教員の年齢層にばらつきがあるため、今後10年ぐらいの見通しをもって、研修内容を検討していただけたら良いのではないかと。また、非常勤講師の研修の充実も望む。
- ・ 学校規模適正化については、幼児はある程度の集団の中で育つことが望ましいと考えるので、園児数が少ないところでは、統合していくのが望ましいと思う。
- ・ 幼稚園において子育て支援機能の充実を図り、地域の子育て支援センターとしての役割を果たすための取組は、大変重要なことだと思う。
- ・ 保育所に入所するほどではないパートの仕事をされている方が、預かり保育を必要とされており、今後も充実が望まれる。

- ・ 子育て支援において、より充実した人員体制や計画のイメージをもち、踏み込んだ取組をして欲しいと思う。

④ 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進についての意見

- ・ 学校支援地域本部事業が始まっており、学校・地域・家庭が連携を図り、地域性をいかしながら子どもや保護者のニーズに応じた取組を実施することが大切であり、市民への啓発も必要である。
- ・ 教員になる意欲をもった学生が、スクールサポート事業で経験を積むのはとても良いことだと思う。スクールサポート事業の取組は今後も継続されることを望む。学生に対して、趣旨を理解して登録するよう働きかけること、また、研修を受けるようにすることも大切である。

⑤ 奈良らしい教育の推進についての意見

- ・ 小学校ハローイングリッシュ事業で、小学校3年生から6年生に英語や異文化に接するチャンスを与えることは大変良いことだと思う。一番大切なのは、「英語を学ぶということを楽しむ」という体験を重ねることではないか。
- ・ 「30人学級」は幼児児童・保護者はもとより、担任・学校園としても、幼児児童一人一人を理解し、コミュニケーションを深め、きめ細かい教育をしていく上で大切なことだと思う。今後も継続していただきたいと願っている。

2 教育ビジョン（中間報告）全体の構成に関するもの

○ 教育ビジョンについての意見

- ・ この教育ビジョンは歴史と文化が香る本市の特性を生かしたものだと思う。具体的な内容の実践は、各地域や学校園が担っていると考える。保護者・教職員一人一人が認識するために啓発することも大切だ。

3 その他

○ パブリックコメントについての意見

- ・ ホームページで公開し、広く市民の意見を聞く企画はとても良いことだと思う。

- ・ 市民・教職員・教育にたずさわる人々が、奈良市の教育の方向性を理解し、共有して進められると思う。

○ 感想や思い

- ・ これからの奈良市の教育の方向性がよくわかり、奈良市の全教職員が理解して取り組んでいくことで、あたたかい人・街づくりになると思う。
- ・ 「自分たちの住んでいる奈良の良さを知り、誇りをもつこと」ができるような教育内容を考えて、取組が始まっていることはとても良いと思う。
- ・ 教育センターの開設を期待していると同時に、より良い教育・保育の工夫改善のための研究を進めたい。
- ・ 世界遺産学習では、興味や関心が広がる教育・保育の創造に努めていきたい。(以上)